

[演題 4]

高校サッカー落雷事故 北村光寿さんの社会復帰の事例

脇田 吉隆¹⁾、小早川 峻太²⁾、檜原 悟²⁾、河野 正誉²⁾

1) 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 社会リハビリテーション学科

2) 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 社会リハビリテーション学科 3年生

はじめに

1996年、高知県土佐高校1年生(当時16歳)北村光寿君が大阪府高槻市でのサッカーの試合中に落雷の直撃を受け、重度の障害を負った。この事故から彼の現在までの生活状況を概観することから社会復帰の困難性と「不断(普段)の努力」を紹介することによって、社会リハビリテーション的支援の重要性を考察する。

1. 事故から裁判提訴と短期大学進学

1996年8月13日、大阪府高槻市で教師引率のもとで行われたサッカー公式戦で、試合開始5分後に落雷の直撃を受けた。高槻市三島救急救命センターへ搬送され、心配停止30分、電気ショックで蘇生したが2か月間意識不明が続いた。両目失明、下半身機能全廃、上肢運動機能減弱、言語障害などの重度障害を負った。その後、高知赤十字病院や近森リハビリテーション病院へ転院し、機能回復訓練を受けた。

1999年3月22日、同級生が卒業すると同時に一方的に高校側から除籍通知が郵送された。3月29日、学校と主催者、グラウンド管理者を安全配慮義務違反で訴えたが、2003年6月高知地裁、2004年10月高松高裁は「落雷は予見不可能」と原告敗訴の判決を下した。

2004年4月、事故から7年8か月後に高知県立盲学校高等部に入学。2005年12月、高知県立

盲学校高等部を休学。

2006年3月13日、最高裁は「落雷は予見可能、引率教諭は安全注意義務を怠った」として高松高裁判決を破棄、差戻を命じた。7月18日差戻控訴審の高松高裁で彼は裁判史上初めて音声パソコンで陳述した。

2007年4月、高知県立盲学校高等部2年生に復学。大学に進学したいと考えるようになり、各地の大学を訪れる。2008年8月には神戸学院大学有瀬キャンパスのオープンキャンパスに参加した。2008年9月13日、TBS「報道特集NEXT」「雷に撃たれた少年」で落雷事故から機能回復、学校生活、オープンキャンパス参加の様子が報道された。本学の受験はしなかった。9月17日、高松高裁は「主催者高槻市体育協会」「土佐高校と引率教諭の注意義務違反」「体育協会も同等の注意義務違反」という学校災害再発防止に向けた画期的な判決を出す。また彼の身体機能に欠かせないリハビリの治療費を77歳まで認定し3億円の損害賠償金の支払いを命じた。9月20日、TBS「報道特集NEXT」「雷に撃たれた少年・判決」で報道された。

2009年3月、盲学校高等部を卒業。4月、希望していた大学での勉学を実現させるために高知短期大学に入学した。

2. 大学生生活

授業や大学内での生活においては、教員や学

生のサポートにより勉強ができる環境が整った。授業では、例えば6点入力というパソコンスキルを習得したことで日常生活における意思表示ができ、また音声読み上げソフトを活用した情報収集が可能になった。2013年3月に高知短期大学を4年間かけて卒業した。この大学生生活の様子が、2009年5月2日、TBSテレビ「報道特集NEXT」「雷に撃たれた男性」で紹介された。

3. 短期大学卒業から現在

短期大学卒業後、「社会福祉法人 土佐厚生会 本部 障害者支援施設こくふ」に入所する。ここでは、職員による支援により自立を目指す生活が始まった。また、他の多くの障害者との交流の機会を増やしていく。落雷事故から彼の現在までの生活状況を本学の「法学」の講義でTBS報道番組や北村裁判を支援する会発行の「落雷裁判勝利へのあゆみ」(2009年3月)を資料として学生に示すことによって、2013年から社会リハビリテーション学科の学生が施設訪問、パソコンでのメール交換等を通じて交流する機会をもつようになり、彼の生活をサポートするようになった。これにより、彼の生活力や勉強意欲がさらに向上して、その結果が2018年広島国際大学心理学部へ入学する機会につながった。

4. まとめと考察

落雷事故によって困難な生活が始まったが、彼の「不断(普段)の努力」と家族や友人、施設関係者の支援によって勉学、生活力は向上して現在に至っている。これらを学んだ本学の学生、特に支援に携わった社会リハビリテーション学科の学生は、彼の社会復帰と夢を実現するためには社会リハビリテーション的支援の重要

性を共有する成果を得た。



2008年8月10日



神戸新聞 2008年8月11日

車いすで神戸学院大のキャンパスを見学する北村光寿さん(中央)とみずほさん(右)＝10日午後、神戸市西区伊川谷町有瀬(撮影・大森 武)



2013年7月6日



2013年7月6日



2015年6月



2016年2月